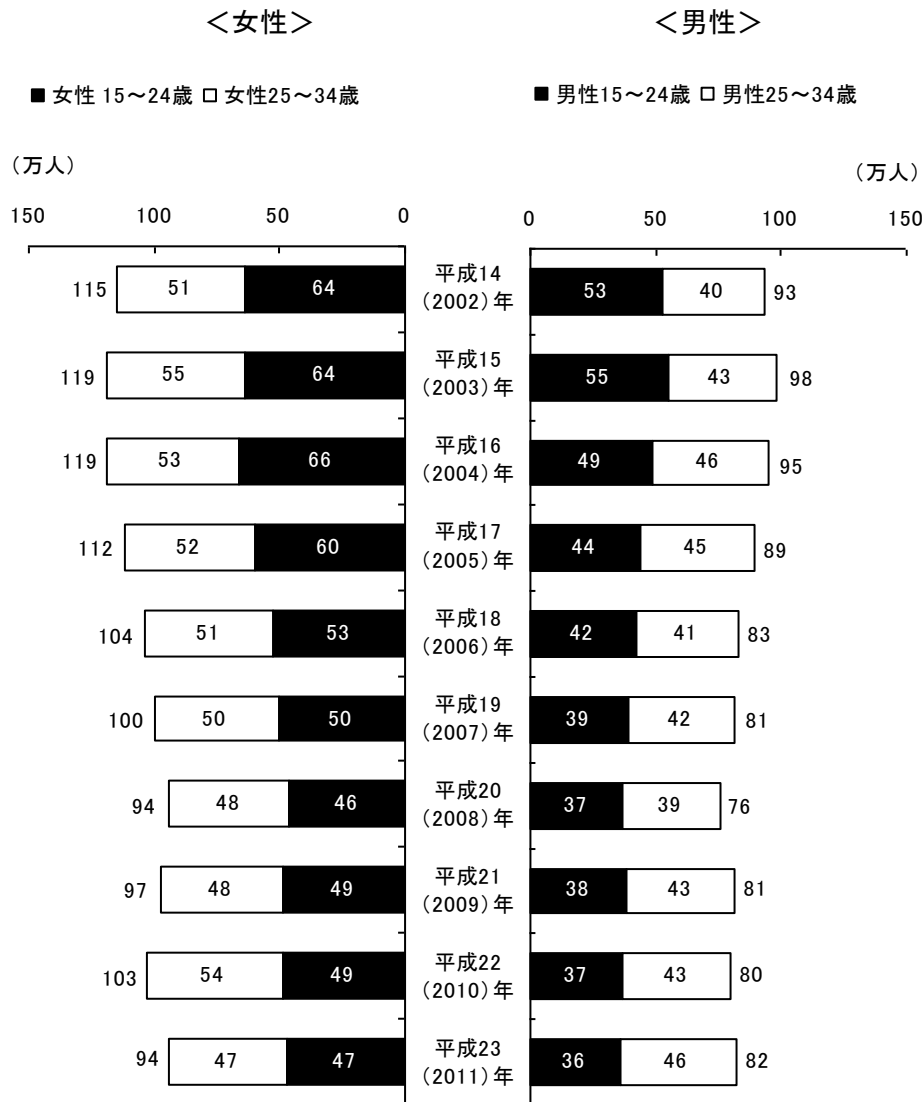


I-9. 生活困難の状況
1. 年齢階級別フリーターの推移

フリーターの推移をみると、平成15(2003)年から平成16(2004)年をピークとして、男女ともに減少傾向にある。各年とも女性の人数が男性の人数を上回っており、平成23(2011)年には、女性で94万人、男性で82万人になっている。

図表 I-9-1 年齢階級別フリーターの推移(全国)



注1: ここでの「フリーター」は、若年層のパート・アルバイト及びその希望者(15~34歳の男性(卒業者)、女性(卒業で未婚の者)のうち、①「パート・アルバイト」での雇用者②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者③非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で家事も通学も就業内定もしていない「その他」の者の合計

注2: 平成23(2011)年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果

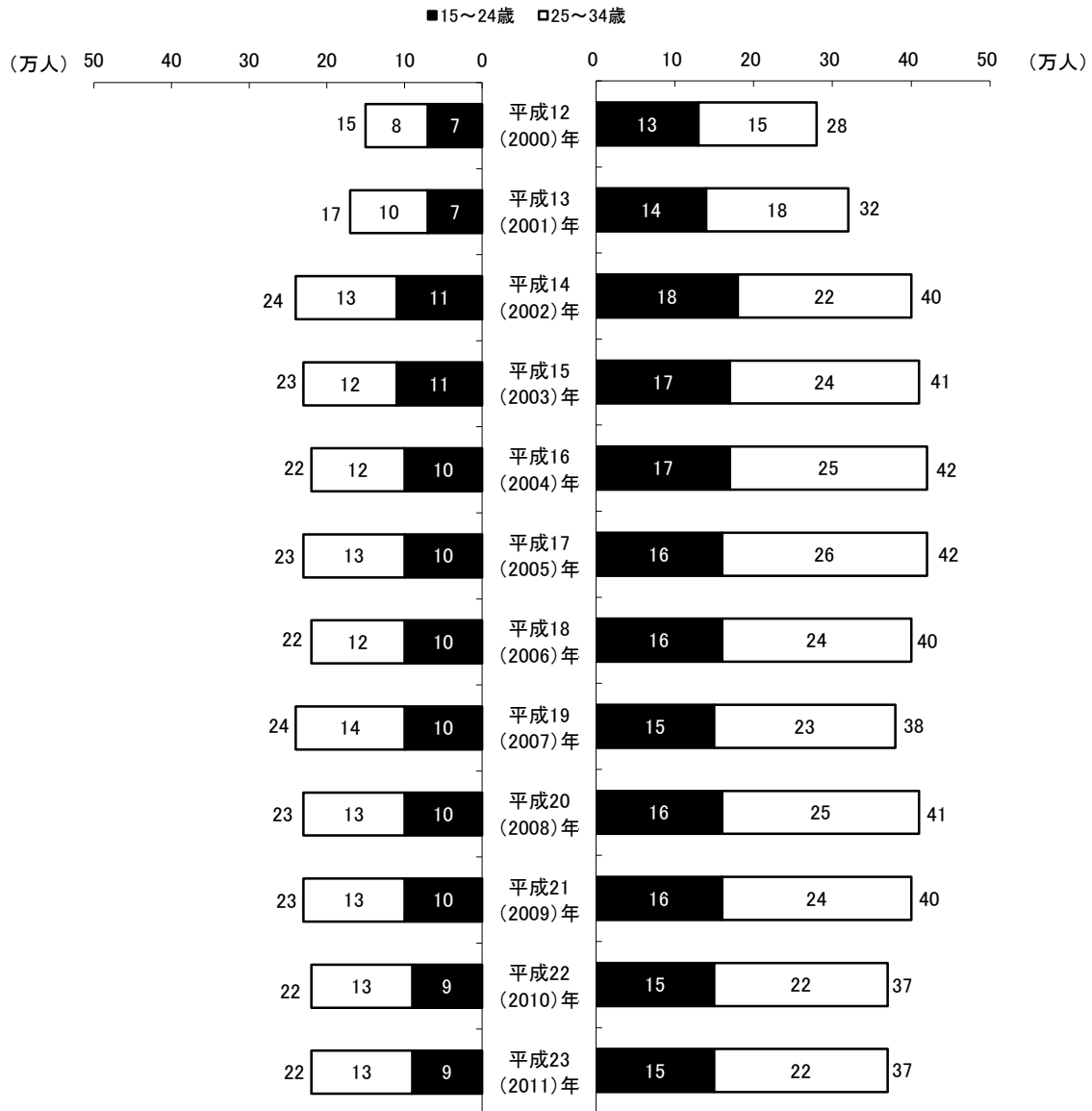
資料: 総務省「労働力調査」

I あらゆる分野への参画の促進

2. 若年無業者数の推移

若年無業者の推移をみると、女性は平成14（2002）年に20万人に達し、その後は20万人台前半で推移している。男性は平成14（2002）年以降30万人台後半から40万人台前半で推移している。

図表 I-9-2 年齢階級別若年無業者数の推移（全国）
 <女性> <男性>



注1：ここでいう「若年無業者」は、15～34歳の非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者

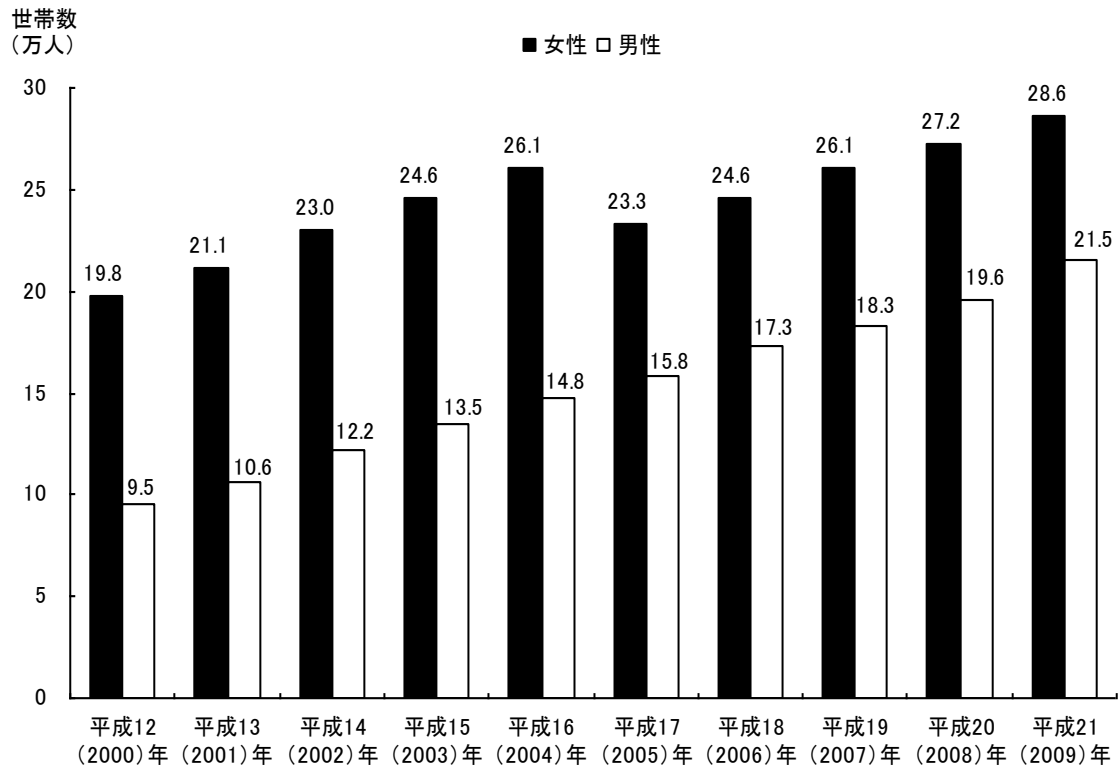
注2：平成23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果

資料：総務省「労働力調査」

3. 生活保護を受ける高齢者単身世帯数の推移

生活保護を受ける高齢者単身世帯数についてみると、女性は平成16（2004）年から平成17（2005）年にかけて一度減少したもののその後は増加しており、男性は毎年増加している。平成21（2009）年の生活保護を受ける高齢者単身世帯数は、男性が21.5万世帯、女性が28.6万世帯となっている。

図表 I-9-3 生活保護を受ける高齢者単身世帯数の推移（全国）



注1：高齢者単身世帯とは、男女とも65歳以上（平成17年3月以前は、男性65歳以上、女性60歳以上）の者のみで構成されている世帯をいう。

注2：各年7月1日時点

資料：厚生労働省「被保護者全国一斉調査」